

令和8年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【仲町小学校】

学力向上 アクションマップ

①	今年度の目標と学力向上策
重点的に育成する 資質・能力	知識・技能や思考力・判断力・表現力等、学びに向かう力、人間性等の資質能力を一体的に育成する。
↓	
実施する学力向上策 【時期・頻度】	(1)単元を見通した教材研究を行い、一人ひとりの課題に合った個別最適な学びを授業に取り入れる。【月に1回以上】 (2)学習状況や必要性に応じ、協働的な学びができる場を授業に設定する。【各単元の中で1回以上】

⑤	年度末評価	
学力向上策の 実施状況	評価(※)	①結果分析(管理職・学年主任等) ②詳細分析(学年・教科担当) ③分析共有(児童生徒の実態把握)
↓		
今年度の成果と 次年度の課題	結果提供(2月)	

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)

②	全国学力・学習状況調査結果の分析
特徴的な結果	国語の「筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えることができるかどうかをみる」問題は、全国の平均正答率と比較して、特によくできていた。一方、「引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる」問題に課題がみられた。 算数の「二次元の表から、条件に合う数を読み取ることができるかどうかをみる」問題は、全国の平均正答率と比較して特によくできていた。
↓	
結果から考えられる 児童生徒の実態	国語の結果からは、文章を読んで、その表現方法の工夫などをよく見付けることができている。一方、引用して書くことや、引用部分と自分の考えとの関係を明確にして書くことなどの書き表し方が身に付いていないことが分かる。 国語や算数の結果から、文章や表などから情報を読み取ることがよくできる児童が多い一方、文章などで自分の考えを書き表すことが苦手の児童が多いのではないかと考えられる。

④	さいたま市学習状況調査結果の分析
特徴的な結果	
↓	
結果から考えられる 児童生徒の実態	①学校全体での取組 ②単元テスト・定期テスト等の分析・活用 ③中間評価を経た取組 ④調査結果を活用した授業

③	中間評価
学力向上策の 実施状況	評価(※)
	B
↓	
学力向上策の 見直し	(変更なし)

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)

教育研究所